



「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」 選定報告会を開催しました

内閣官房及び農林水産省が主催する「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」第7回選定で沖縄県から「しろう農園株式会社(宮古島市)」が優良事例に選定されました。また、沖縄独自の令和2年度「沖縄総合事務局『デイスカバー農山漁村(むら)の宝』」では、「農業生産法人株式会社今帰仁ざまみファーム」を選定しました。

内閣官房及び農林水産省は、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」(第7回選定)として、全国から28地区及び4名を選定し、沖縄県内からは「しろう農園株式会社(宮古島市)」が選定されました。

同社は、「宮古島発アロエとヤギの持続可能な循環農業」をテーマに、日本最大規模のアロエ畑の除草にヤギを利用し、その糞を堆肥にして畑に戻す無農薬循環型農業を行うと



しろう農園株式会社 選定報告会

同社は、「宮古島発アロエとヤギの持続可能な循環農業」をテーマに、日本最大規模のアロエ畑の除草にヤギを利用し、その糞を堆肥にして畑に戻す無農薬循環型農業を行うと

ともに、ヤギとふれあえる観光牧場を開園しています。さらに、生産したアロエの商品開発やECサイト販売等で6次産業化を推進し、アロエ事業の売上高と地元雇用を増加させています。

また、このほか、沖縄総合事務局では、独自に令和2年度「沖縄総合事務局『デイスカバー農山漁村(むら)の宝』」として、県内で農山漁村の活性化に向けた取組を行っている「農業生産法人株式会社今帰仁ざまみファーム(今帰仁村)」を選定しました。

同社は、快眠改善ハーブとして有効性が科学的に実証されたクワンソウの商品開発、栽培・加工・販売、花摘み体験ツアーなどに、平成20年から生産農家、研究機関、食品企業、役場等と連携し取り組むとともに、クワンソウの栽培に耕作放棄地を利用することで、耕作放棄地の解消に取り組んでいます。



農業生産法人株式会社今帰仁ざまみファーム選定証授与式

お問合せ先
農林水産部

農村振興課

☎098-866-1652



国道329号西原バイパスが 令和3年度事業着手 ～西原バイパスの整備により 渋滞解消および、地域産業を支援～

国道329号は、起点である名護市世富慶から沖縄本島の東海岸を南下し、那覇市旭町に至る延長約78kmの主要幹線道路であり、国道58号や国道330号とともに、県内の社会・経済活動を支える大動脈です。

近年、沖縄本島の東海岸地域では中城湾港を中心として開発が進められており、急激な都市整備が進展しています。

しかしながら、当該地域を縦貫する国道329号は、生活交通と物流交通が混在し、主要渋滞箇所である西原町小那覇交差点を中心に朝夕を中心に交通渋滞が発生し、地域の産業振興、経済活動を行ううえで大きな障害になっています。また、小那覇交差点付近では、大雨により近隣河川が溢れたため道路が冠水し、全面通行止めも発生しています。

このような背景のもと、交通の円滑化、災害時に強い道路ネットワークの確保、産業振興、周遊観光の支援を図るため、バイパスの早期事業化に向けた各種手続きを進めてきました。平成29年度より計画段階評価に着手し、令和2年度の都市計画変更手続きを経て、令和3年度に事業化となりました。

令和3年度より、現地の基礎データ取得のため、測量地質調査に着手します。南部国道事務

務所では、西原バイパスはもとより隣接する与那原バイパスや南風原バイパスの開通に向け鋭意整備を進めていきます。



お問合せ先

南部国道事務所

☎098-866-12336